

公表 事業所における自己評価結果

事業所名		ニコたま		公表日		令和8年 3月 5日		
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点			
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7	0	・活動ごとに部屋を分けている。	・引き続き、安全に過ごせるように設定をしていく。		
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	6	1	・支援を充実していくために、基準配置より多めに職員を配置するようにしている。	・引き続き、お子様の特性に応じて職員を配置していきたい。		
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	6	1	・構造化を取り入れている。こども達に分かりやすい環境等を設定している。	・引き続き、利用されているお子様の特性に合わせて過ごしやすい環境を作っていく。		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	1	・掃除や消毒を行っている。しかし、事業所の外の掃除など、職員が少ない日は清掃が行き届いていないことがある。	・引き続き、お子様や保護者様、近隣の方が気持ち良く過ごせる環境を作っていくため清掃の時間を設定していく。 ・冬季は部屋が乾燥していることがあるため加湿器を使用していく。		
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	0	・クールダウンをしたいときや、1人で遊びたいときには個別の部屋を使っていたい。			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	7	0	・お子様が帰宅後にその日の活動の振り返りを行い、改善点や次回の対応など話し合い、今後の療育に活かしていく。	・公休等で参加が難しい職員には、記録に記載することで、全体で共有をしていく。		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・年に1度、アンケートを実施し、そのご意見をもとに業務改善に繋げている。	・管理者だけでなく、現場の職員とも話し合いをしながら業務改善に努める。		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7	0	・行事後は振り返り行ったり事業計画の見直しをしたりしながら、業務改善に努めている。	・事業所の質の向上を目指すため、職員が意見を伝えあう機会を引き続き持つていく。		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	6	1	・第三者による外部評価は行っていない。	・第三者による外部評価は行っていない。必要に応じて、外部評価を行い、業務改善につなげていきたい。		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7	0	・毎月の部門内研修や外部の研修に参加している。	・研修のお知らせをアプリや掲示物で共有したり、自己研鑽として外部の研修に参加したりしているため引き続き、行っていきたい。		
適切な支援の提供	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7	0	・HPで支援プログラムを公表している。			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	7	0	・アセスメントを行い、保護者様の要望とお子様の発達に合わせた個別支援計画を作成している。			
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7	0	・児童発達支援管理責任者だけでなく、職員全員で共通理解をして支援にあたっている。			
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	6	1	・個別支援計画を職員に共有している。半年に1回、個別支援計画の見直しをしている。	・勤務時間の関係でパート職員が個別支援会議への参加が難しいときがあるため記録の閲覧や個別の共有を行っている。		
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7	0	・太田ステージや遠城寺式発達検査等によるフォーマルなアセスメントと、行動観察によるアセスメントを実施している。			
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7	0	・個別支援計画に「本人支援」「家族支援」「移行支援」の項目を作成し、具体的な支援内容を設定している。			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7	0	・週替わりで担当職員が個別支援計画をもとに活動内容を考え、他の職員に周知している。また、振り返りの時間を設けて、次の変更点や改善点を話す機会を設けている。			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7	0	・季節の行事や外出活動を取り入れている。繰り返し同じ活動を行うことで、成長に繋がりがやすいお子様もいるためあえて活動を変更しない場合もある。	・研修等に積極的に参加したり他事業所の取り組みからヒントを得て、プログラムが固定化されないようにしていく。		

	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	7	0	・お子様の状況や課題に合わせて個別活動、小集団活動を組み合わせ取り入れている。	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7	0	・朝礼時に、その日の支援の内容や職員の役割分担について周知、話し合いを必ず行うようにしている。	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7	0	・終礼時にその日の振り返りを行い、気づきや変更点を共有している。詳細は記録に残し休みだった職員にも共有できるようにしている。	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7	0	・支援記録システム（シンプルケース）に記録を残している。また、個別課題に関しては、書面に残し、保護者様と共有している。	・今後の支援に活かせるように、記録をしっかり残し、次の支援に繋げていく。
	23	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7	0	・半年に1回モニタリングを行い、個別支援計画の見直しを行い、計画を変更している。	
関係機関や保護者との連携	24	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7	0	・児童発達支援管理責任者が参加している。参加していない職員には振り返りの時間を使い周知している。	・引き続き、担当者会議に参加しながら、関係機関との連携を深めていく
	25	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	7	0	・担当地区の保健師と情報を共有したり、保護者様の許可を得て保育園へ伺って様子を見させていただいたりしながら連携をしている。	
	26	併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	7	0	・保育園や幼稚園と並行利用されているお子様に関しては、保護者様の許可を得て、幼稚園や保育園へ様子を見にいかせていただいたり、園の先生に二コたまでの療育の取り組み等を見学いただいたりしている。	・引き続き、事業所の中だけで完結するのではなく、情報を共有しながら、地域でお子様とご家族を支えていきたい。
	27	就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	3	・連携した実績はあるが、今年度は要望がなかったため行ってない。	・小学校に入学してから放課後デイの職員と利用されていたお子様の授業の様子を見せて頂いたり、現在の課題等を共有させて頂いた。幼児期から学童期への移行をお子様と保護者様が安心して行えるように保護者様からの要望等に合わせた小学校や特別支援学校(小学部)とも引き続き等行っていきたい。
	28	(28～30は、センターのみ回答) 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。				
	29	質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外務研修に参加させているか。				
	30	(自立支援)協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等積極的に参加しているか。				
	31	(31は、事業所のみ回答) 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	6	1	・法人内の児童発達支援センターと地域課題等の情報共有を行ったり運動面の課題については作業療法士（OT）より助言を得ている。	・引き続き、法人内の児童発達支援センターと積極的に交流をしていながら、療育について助言をいただけるようにしていく。
	32	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。	1	6	・ほとんどのお子様が地域の園へ所属されており交流の場があるため、あえて交流する機会を持っていない。外出活動等で場を共有することはある。	・未就園児も幼児クラブや園庭開放などに参加され、地域の中でお子様と関わる機会がある。保護者様のご要望も取り入れながら必要に応じて地域の方と交流をする機会を設けていく。
	33	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	7	0	・お迎えの際に、活動の様子や家庭での困り感を話す機会を設けている。	・ご要望があれば、保護者様に療育の様子を見学いただいたり、療育の日と別日に相談等をお受けしたりしている。また、保護者様とお子様の活動の場を設け、ご家庭での困り感等をお聞きしながら、育児の困り感の軽減に努めている。
34	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	6	1	・児童発達支援では、ペアレント・トレーニングは行ってないが、拠点内のじい教室では行っている。	・保護者様のご要望に合わせてペアレント・トレーニングの参加を促したり研修等を機会を設けたりしていく。	
	35	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7	0	・契約時に、契約書や重要事項説明書、支援プログラムの説明を行っている。	
	36	児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点から踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7	0	・お子様や保護者の意思を尊重し、事前に保護者様へ要望書に記入して頂いてから、個別支援計画を作成するようにしている。	

保護者への説明等

37	「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	7	0	・必ず懇談の時間を設定し、個別支援計画の説明を行っている。	
38	定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7	0	・面談を設定したり、お迎えの時間や療育時間を使って、相談等をお聞きしている。	
39	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	6	1	・地域の園に所属している方が多く、あえて保護者会を開催する等は行っていない。きょうだい同士で交流する機会は設けられていない。 ・年長児の保護者様は就学に向けての座談会、親子療育に参加されている方は、親子療育内で座談会を行い、保護者同士で交流する機会を設け、ご家庭でのお子様の様子等を共有されている。	・保護者様のご要望をお聞きし、交流する機会の開催・検討を行っている。
40	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7	0	・苦情窓口や相談窓口については契約時に保護者様に説明をしている。	・相談等があった場合には、迅速に対応できるように心がけているが、適切に対応ができるように職員間で情報を共有してから返答をさせていただく。
41	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	7	0	・月1回通信を連絡帳アプリで配信している。行事については、別紙でお便りを作成し、配信するようにしている。	・活動の概要や、行事予定に関しては、連絡帳アプリだけではなく、保護者様に口頭でもお伝えするようにしている。
42	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7	0	・契約の際に、個人情報に関する同意書をいただいております。写真の掲載の許可を得ている。個人のカルテ等については鍵のかかるロッカーで管理している。	・職員にも定期的に個人情報についての取り扱いについて周知している。
43	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7	0	・それぞれのお子様、保護者様に合わせて対応するようにしている。 ・口頭だけではなく視覚的に分かりやすいよう、写真を使用したり書いて伝えたりするようにしている。	
44	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	2	5	・今年度は二コたまに地域の方を招いたことはないが、併設しているみんなのれいぞうこに地域の方の見学を受け入れたことがある。	

非常時等の対応

45	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7	0	・毎年マニュアルを点検し、必要に応じて書面にて周知のお手紙を配布している。 ・月に1回、地震、火災、不審者への対応などを想定した訓練を行っている。	
46	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7	0	・BCPを作成している。定期的に避難訓練や避難場所の確認、備蓄等の確認を行っている。	・定期的に災害訓練を行い、職員が迅速に対応できるようにしていきたい。
47	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	7	0	・契約時に、カルテに記載し、職員で周知を行っている。	
48	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7	0	・現在、食物アレルギーの対応が必要なお子様はいない。契約時にアレルギーチェック表をお渡ししている。アレルギーがあるお子様にはかかりつけ病院の連絡先を記載してもらうようお願いをしている。また、医師の指示書等必要に応じて対応していく。	
49	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7	0	・安全計画を作成している。 ・緊急時に備えてAEDを設置し、定期的に研修を受けている。	・訓練の際に臨機応変な対応が取れるように研修・訓練を行っている。
50	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7	0	・契約時に災害時については避難場所等をお伝えしている。	
51	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7	0	・ヒヤリハット・インシデントが発生した際には、職員間で再発防止のため話し合いを行っている。再発防止策を、アプリ内に記録し、共有している。	・重大事故を防止していくためにもヒヤリ等の気付きが職員から上がるように振り返りの場を使って周知していく。
52	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7	0	・定期的に外部の虐待に関する研修や内部の虐待防止委員会主催の研修に参加している。	
53	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	7	0	・契約時に、緊急をやむを得ない身体拘束について保護者様に説明をして、同意書にサインをいただいている。また、個別支援計画にも記載している。	・職員間でどのような場合が身体拘束にあたるのか周知を行っている。また、行動を制限したり抱きかかえるなどのやむを得ず身体拘束を行った場合には、保護者様に状況の説明、次回の対応について記録に残している。